

マイクロプラスチックを見つけよう！

JAMSTEC創立50周年記念事業ワーキンググループ
(2021年7月作成)

マイクロプラスチックとは？

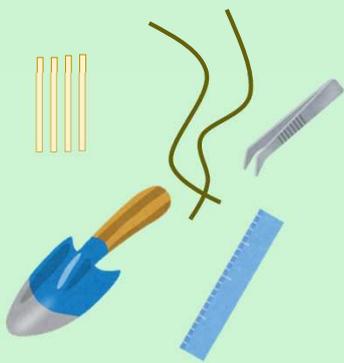
マイクロプラスチックとは、5ミリメートル以下の大きさのプラスチック粒子のことです。

現代では、プラスチック製品は私たちの生活に欠かせないものですが、プラスチックごみが正しく捨てられずにポイ捨てされたり、風に飛ばされたりして川や海に落ちると、やがて紫外線をあびて劣化し、どんどん割れて細かくなります。そうしてマイクロプラスチックになってしまうと、すべて回収するのはとてもむずかしく、海洋生物にもわるい影響を与えられています。

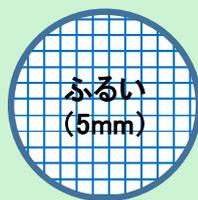
きれいに見えるビーチにもマイクロプラスチックが砂に混ざっているかもしれません。近くのビーチで探してみまじょう！



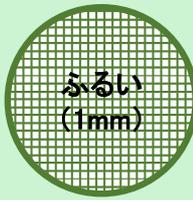
用意するもの



- 30cm定規 1つ
- 割りばし 4本
- ひも 1m
(できれば紙ひも)
- スコップ 1つ
- ピンセット 1つ



ふるい
(5mm)



ふるい
(1mm)

- ふるい (5mm、1mm)

※マイクロプラスチックは5mm以下のプラスチック粒子と定義されているため、5mmのふるいを用意してください。ここでは、1mm～5mmのマイクロプラスチックを採取します。(1mmよりも小さなふるいだとマイクロプラスチックを数えるのが難しくなりますので、肉眼でもマイクロプラスチックを識別しやすい1mmのふるいがオススメです。)



- バケツ (海水をろ過するために、2個。サイズは問いません。)



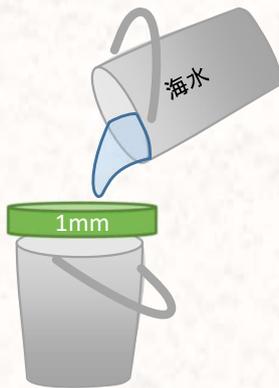
- 熱中症対策！



- 小ビン2個 (採取したプラスチックを保存します。お皿などでもOK！)

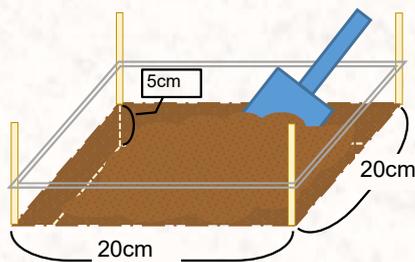
マイクロプラスチックの調べ方

①海水をろ過する



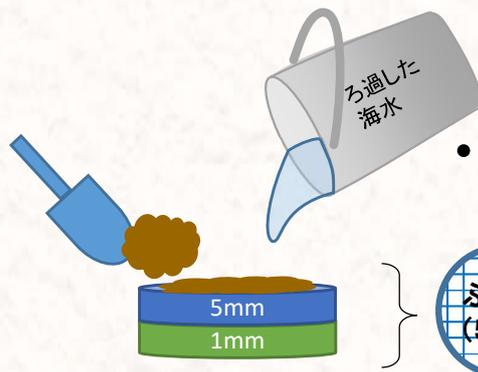
- ③の手順で使用する、ろ過した海水をつくります。
- ごみの混入を防ぐために、あらかじめ目の細かいふるいでこしておきます。

②砂を集める

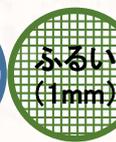


- 20cm四方に割りばしをさし、ひもで正方形の枠を作ります（※）。
- スコップで5cmの深さまで砂を掘り、重ねたふるいに入れます。
- （※）複数の場所で比べない場合は、掘る広さは決まっています。また、割りばしやひもがなくても、四角く線を引いてその中を掘るのでもかまいません。

③砂をふるいにかける

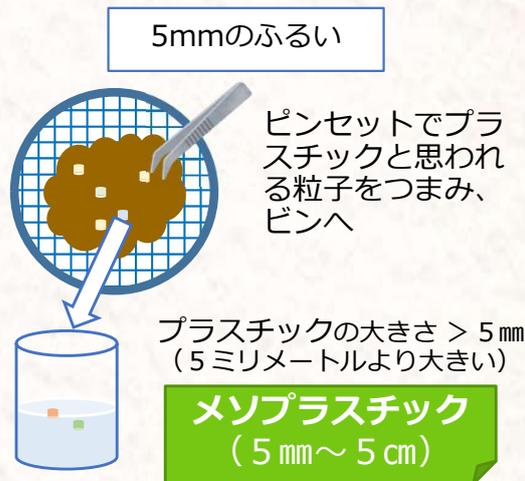


- 1mmのふるいでろ過した海水を注ぎながら、砂をふるいでこします。



ふるいは上から順に、5mm→1mmで重ねます。

④プラスチックを見つける

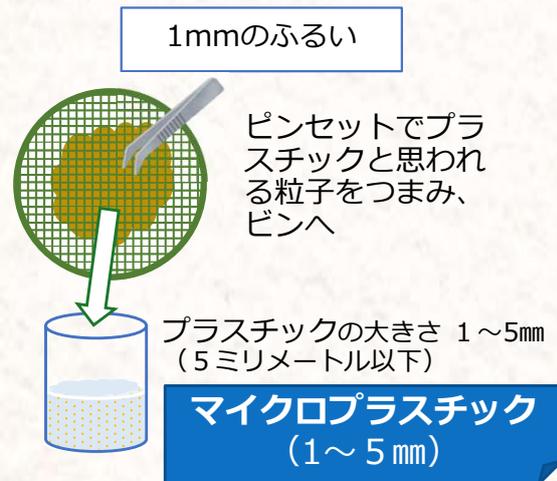


5mmのふるい

ピンセットでプラスチックと思われる粒子をつまみ、ビンへ

プラスチックの大きさ > 5mm (5ミリメートルより大きい)

メソプラスチック
(5mm~5cm)



1mmのふるい

ピンセットでプラスチックと思われる粒子をつまみ、ビンへ

プラスチックの大きさ 1~5mm (5ミリメートル以下)

マイクロプラスチック
(1~5mm)

⑤比べてみる

- ビーチのいろんな場所でマイクロプラスチックを探して、ちがいを比べてみましょう！